

日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会会誌投稿規定

1. 本誌は日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会の機関誌として年1回発行する。
2. 本誌は本会学術集会において発表した内容を積極的に掲載する。
3. 投稿者（筆頭著者）は本会会員とする。ただし、本会が依頼や承認した場合はこの限りでない。
4. 原稿の提出方法については、本会運営事務局より案内する。
5. 投稿論文においては個人情報保護の観点から、たとえ学術論文であっても容易に個人が特定されないように、症例の記載については十分に配慮しなければならない。ヘルシンキ宣言に違反していると判断された論文は採用されない。
6. 著者校正は原則として一度行う。
7. 論文の内容については、著者が責任を負う。症例報告、その他については、個人のプライバシーに配慮した内容にする。本誌に発表されたすべての論文の著作権は、著者（共同著者を含む）から日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会に委譲されるものとする。
8. 掲載料は無料とする。掲載原稿（図表などを含む）は原則として返還しない。
9. 原稿執筆の要領は次のとおりとする。要領に合わない場合は著者に修正を求める。
 - (1) 原則として本文は6,000字以内としその構成は、要旨、諸言、対象・方法、結果、考察、結語、文献の順とする。上記の文字数は文献を含んだ文字数である。また、図・写真・表の各1点は、原則として400字に換算する。
 - (2) 原稿は邦文とし、横書き、当用漢字、現代仮名使いを使用する word の使用を推奨する。
 - (3) 図表は作表、作図ソフトウェアで作成し、本文とは別に、図のみのファイルと表のみのファイルを用意する。邦文の標題をつける。図表の挿入箇所は原稿用紙の右欄外に朱書する。掲載する写真・図版はモノクロとする。
 - (4) 図表の引用の場合は、その出典を明らかにする。
 - (5) 外国人名、地名、薬品名は原語またはカタカナを用い、明瞭な活字体とする。
 - (6) 単位表記は原則としてSI単位を用いるが、日常臨床で使用している単位を用いても差し支えない。数字は算用数字（1, 2, 3 など）を用いる。
 - (7) 引用文献は、本文の引用箇所に順次番号を付し、本文の末尾に一括して、次の形式に従い引用順に記載する。
 - 1) 書籍は、著者名（3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または、「et al.」として省略する）：論文名。書籍名；編者名、出版社名、所在地、頁（p 始め — 終わり）、西暦年。の順に記載する。
(例1) 高橋公太：腎移植患者と感染。上田 泰、斎藤 篤、編：化学療法と腎臓、東京医学社、東京、127-147、1992。
 - 2) 雑誌は、著者名（3名までは全員記載、4名以上の時は3名まで記載し、以下は、「他」、または、「et al.」として省略する）：論文名。雑誌名（略名）、巻；頁（始め—

終わり), 西暦年. の順に記載する.

(例1) 田中 寛, 岸本武利, 山上征二, 他: 透析患者に合併した皮膚掻痒症に対する Azelastine Hydrochloride の臨床効果. 透析会誌, 28: 389-395, 1995.

(例2) Heid, PJ, Port, FK, Worfe, RA, et al.: The dose of hemodialysis and patient mortality *Kidney Int*, 50: 550-556, 1996.

3) オンライン雑誌は, 著者名(3名までは全員記載, 4名以上の時は3名まで記載し, 以下は, 「他」, または, 「 et al.」 として省略する): 論文名. 雑誌名(略名), 年. ウェブサイトアドレス.

(例1) Nakayama M, Sato T, Sato H, et al.: Different clinical outcomes for cardiovascular events and mortality in chronic kidney disease according to underlying renal disease. *Clin Exp Nephrol*, 2010.
<http://dx.doi.org/10.1007/s10157-010-0295-y>

附則 (令和8年2月4日) 本規定は, 同日から施行する.